

社殿改修工事完成予想図
(本殿板壁の一部は伊勢神宮備林御用材使用)



旭川神社

御鎮座百三十周年記念事業

趣意書

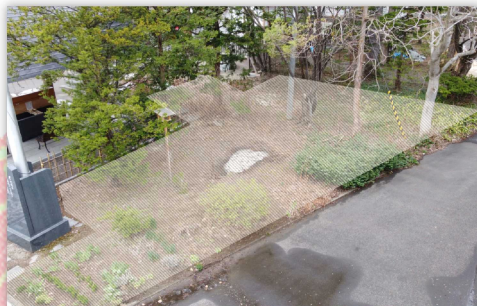
〜祈りと憩いの心を未来に〜



境内舗装工事等完成予想図



北側駐車場整備予定地



手水舎南庭整備予定地

明治二十五年旭川屯田が入植。屯田中隊事業として村社建設を決議し、明治二十六年、村名をとり旭川神社と称し本殿を造営。令和五年には御鎮座百三十周年の節目を迎えます。

この佳節にあたり、懸念されてきた社殿の改修と共に、近年増加傾向にある参拝者や地域行事を通じて、地域交流の場ともなっている参道、駐車場の整備、また手水舎周辺の庭の整備を行い、東旭川豊岡東光の鎮守に相応しく、そして道内外の参拝者に旭川の発祥である地域の神社として恥ずかしくない境内の風致を整備して参りたいと存じております。

入植当時より先人達の「祈り」と「地域交流の場」として、守られてきた歴史・伝統そしてその「心」を子々孫々に伝えるため、新型コロナウイルス禍ではありますが、ここに氏子・崇敬者各位の熱誠溢れる御奉賛を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

令和五年一月一日

旭川神社御鎮座百三十周年記念事業

奉賛会会長 畑山 義 裕

旭川神社

宮司 芦原 高 穂

◎事業内容

- ・ 神社社殿改修工事、境内参道舗装工事、駐車場工事、手水舎南庭工事、社務所補修工事

◎総事業費 四千万円（寄付金 三千万円）

（お問合せ）

旭川神社御鎮座百三十周年記念事業奉賛会事務局

旭川神社内 ☎〇一六六・三六一・一八一八

